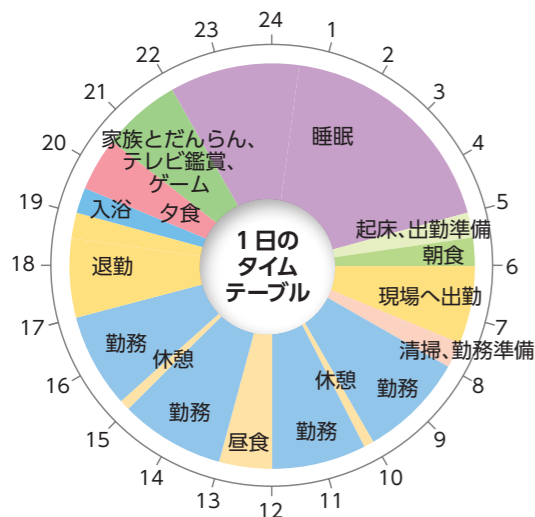


より良い暮らしの土台を造る。



社員の頑張りを評価してくれます。

OFF



ON

休日は友達と買い物や食事に出掛けることが多いです。建物や家具のデザインに興味があるので、お店の雰囲気や内装にもつい目がいきます。

私のお気に入り、天降川沿いにあるおじぎ家です。空間の広がりや演出するために、茶室をイメージしたと店主が話す入口を通過すると、非日常の世界に飛び込んだ気持ちになれるので、よく利用しています。

看板メニューのお好み焼きは、定番の豚肉のほか牛すじや海鮮など9種類。四角い形で切り分けしやすいので、友達と違う種類を頼んでシェアするのもいいですよ。完全オリジナルでお店自慢の豚あご肉は男性に、ぱりぱりのエビがたくさん入ったエビマヨは女性に大人気。家庭で簡単に作れて、お店の味が楽しめるお持ち帰りセットを計画中だそう。乞うご期待。

お薦め



お好み焼・鉄板焼 おじぎ家

- 場所 = 国分野口西30-74-8
- 営業時間 = 昼 / 午前11時30分～午後2時30分、夜 / 午後6時～10時 (日曜は夜のみ)
- 定休日 = 水曜 ● 駐車場 = 13台
- ☎ = おじぎ家 ☎ (45) 8845

鎌田建設株式会社 建築部 西田莉乃さん(23)
 国分出身。単工工業高校、第一工業大学工学部建築デザイン学科卒業。
 平成31年入社。特技は書道で2段。初等師範の資格を持つ。趣味は読書で、書斎が欲しいと思っている。両親と3人暮らし。国分在住。

日 常生活や経済活動に不可欠な道路や電気、水道、学校、病院などの社会基盤の整備を行う建設業。災害発生時には真っ先に駆け付け、現場の復旧作業を行うなど地域にとっても重要な存在です。建設業で市内最大の事業規模を誇るのが、国分にある鎌田建設(株)です。



「建物や道路など目に見えるものだけでなく、水道管や通信設備など地中に埋まっています。人目に付かないものも生活には欠かせません。人々のより良い暮らしを支えるのが建設業の役割であり、やりがいでもあります」と話すのは同社副社長の鎌田安典さん(45)です。

「企業方針に「おかげさま」とあるように「弊社は地域の発展とともに成長させていただきました。今があるのも地域のおかげです」と感謝します。同社建築部で現場施工管理の補助を務めるのが入社2年目の西田莉乃さん(23)です。子どもの頃から物を作ったり、絵を描いたりするのが好きで高校、大学で建築デザインを学びました。企業説明会で「自分たちが何気なく目にしたり、利用したりしている建物などを造っていることを聞きました。驚いたのと同時にこの仕事がしたいと思いました」と入社を決意。現在は鹿児島市の建築現場で工程管理や資材調達、建築に必要な書類作成などを行っています。西田さんは「現場は施工が進むにつれ、毎日景色が変わります。少しずつ完成に近づいていくのを見るのがうれしい。将来的には建物の設計もしたいです」と目を輝かせます。

ワーク・ワーク

vol.34

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。第34回は鎌田建設株式会社の西田莉乃さん(23)です。就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

取材協力企業 **鎌田建設株式会社**
 国分敷根141 ☎0995(46)3000
<http://www.k-kamada.com>

代表者: 鎌田 善政
 創業: 昭和42年4月
 資本金: 4,000万円
 売上高: 48億円 (令和元年5月期)
 従業員数 (男/女): 80人 (66人/14人)
 平均年齢: 45.2歳

有給休暇の平均取得日数: 6日/年
 月平均残業時間: 20時間
 育休取得者数 (男/女): 1人 (0人/1人、平成30年度)
 初任給: 16万～18万円
 採用実績 (新卒/中途): 9人 (4人/5人、平成30年度)
 勤務時間: 午前8時～午後5時 (年間休日105日)

市ホームページで、このコーナーのバックナンバーを閲覧いただけます。↓